

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	美術・デザイン	
科目基礎情報							
科目番号	0006			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教養			対象学年	1		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	美術 1 (光村図書)						
担当教員	上月 佳代						
到達目標							
1. 観察力、主題の表現、方法を工夫することができる。 2. 発想、構想、着想の表現ができる。 3. 材料、用具、技法の理解ができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安(可)	
到達目標1	観察力、主題の表現、方法を工夫し、独自の世界観を作り出すことができる。			観察力、主題の表現、方法をよく工夫することができる。		観察力、主題の表現、方法を工夫することができる。	
到達目標2	発想、構想、着想の表現ができ、独自の世界観を作り出すことができる。			発想、構想、着想の表現がよくできる。		発想、構想、着想の表現ができる。	
到達目標3	材料、用具、技法の理解ができ、的確に扱うことができる。			材料、用具、技法の理解がよくできる。		材料、用具、技法の理解ができる。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	美術・デザインの専門分野で、創造活動を通して、人間・社会・自然で美的体験を豊かにし、美意識を深め、感性やアイデアを表現する。また、情報社会の中で、生活や文化・環境を思考しながら、工学デザインへの一歩として理解し、個性ある能力を高める。						
授業の進め方・方法	【授業時間 6 0 時間】						
注意点	美術は自己をしっかり見つめ、自分を表現する。身近な生活の中造形に興味を持ち、楽しむ。与えられた課題は最後まで取り組み、根気や忍耐力を発揮すること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	1 美術・デザインの概念		美術・デザインの意識を理解して美術に取り組む心構えができる。		
		2週	2 色彩 (色相環・三属性)		色彩 (色相環・三属性)を理解することができる。		
		3週	2 色彩 (色相環・三属性)		色彩 (色相環・三属性)を理解することができる。		
		4週	2 色彩 (色相環・三属性)		色彩 (色相環・三属性)を理解することができる。		
		5週	3 平面構成		バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。		
		6週	3 平面構成		バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。		
		7週	3 平面構成		バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。		
		8週	3 平面構成		バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。		
	2ndQ	9週	3 平面構成		バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。		
		10週	3 平面構成		バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。		
		11週	3 平面構成		バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。		
		12週	3 平面構成		バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。		
		13週	3 平面構成		バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。		
		14週	3 平面構成		バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。		
		15週	3 平面構成		バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。		
		16週	3 平面構成		バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。		
後期	3rdQ	1週	4 工業デザイン (立体)		機能的な形と美しさの調和を考えて、造形し、着色することができる。		
		2週	4 工業デザイン (立体)		機能的な形と美しさの調和を考えて、造形し、着色することができる。		
		3週	4 工業デザイン (立体)		機能的な形と美しさの調和を考えて、造形し、着色することができる。		
		4週	4 工業デザイン (立体)		機能的な形と美しさの調和を考えて、造形し、着色することができる。		
		5週	4 工業デザイン (立体)		機能的な形と美しさの調和を考えて、造形し、着色することができる。		

		6週	5 鉛筆によるデッサン	対象を観察して、それを素描で表現することができる。
		7週	5 鉛筆によるデッサン	対象を観察して、それを素描で表現することができる。
		8週	5 鉛筆によるデッサン	対象を観察して、それを素描で表現することができる。
	4thQ	9週	5 鉛筆によるデッサン	対象を観察して、それを素描で表現することができる。
		10週	6 静物画	静物を観察し、どう表現するかを考えて、画面構図・着色することができる。
		11週	6 静物画	静物を観察し、どう表現するかを考えて、画面構図・着色することができる。
		12週	6 静物画	静物を観察し、どう表現するかを考えて、画面構図・着色することができる。
		13週	6 静物画	静物を観察し、どう表現するかを考えて、画面構図・着色することができる。
		14週	6 静物画	静物を観察し、どう表現するかを考えて、画面構図・着色することができる。
		15週	7 美術・デザインのまとめ	美術・デザインのまとめとして、絵画などを鑑賞して作者の意図が理解できる。
		16週	7 美術・デザインのまとめ	美術・デザインのまとめとして、絵画などを鑑賞して作者の意図が理解できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
評価割合						
	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	合計
総合評価割合	0	0	70	0	30	100
基礎的能力	0	0	70	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0